

協議第 11 号

令和 2 年度第 8 回佐賀うちどくフェスティバル開催について

このことについて、別紙のとおり協議する。

令和元年 8 月 22 日提出

小城市教育委員会 教育長 大野 敬一郎

協議理由

このことについて、別紙のとおり佐賀うちどくネットワークから開催依頼があったため協議する。

「令和2年度第8回佐賀うちどくフェスティバル」共催のお願い

1. 佐賀うちどくネットワークについて（別紙参照）
2. 「令和2年度第8回佐賀うちどくフェスティバル」のについて
 - *子ども夢基金から助成をうけて開催する事業
 - *地方自治体や教育委員会とは共催できないので名目上は後援
 - *地区PTAとの共催希望
（鳥栖大会・唐津大会・武雄大会・嬉野大会は地区PTAと共催）

日時：令和2年10月～12月の土曜日の午後

会場：市内の200名～400名収容のホールのある会場

・日程例

- ① オープニング 家読テーマソング「こころつないで」の合唱他（20分）
- ② 開会行事（20分）
- ③ 基調講演（60分）
- ④ シンポジウム or 実践発表（60分）
- ⑤ 閉会行事（10分）

3. 本ネットワークが「子どもゆめ基金」に申請予定の経費
 - ① チラシ・当日パンフレットの作成費用
 - ② 講師の旅費と謝礼
 - ③ コーディネーター・発表者・実行委員の旅費と謝礼
 - ④ 看板の作成費用
 - ⑤ その他「子どもゆめ基金」の規定で支出できるもの
4. 準備委員会の設立
 - ・令和元年10月～令和2年3月
 - ・準備委員長の推薦
 - ・フェスティバルの期日・会場・講師等の選定
 - ・小城市内の家読の取り組み奨励
 - ・協力団体との調整（市連Pへの動員依頼準備・PTA研修会との共催）
 - ・子ども夢基金への申請内容確定（11月中）
5. 実行委員会の設立
 - ・令和2年5月～（4月に助成金決定）
 - ・佐賀うちどくネットワーク、教育委員会、地元関係団体代表者、有識者で組織
6. 事務局について
 - ・できれば小城市内に設置をお願いしたい。

平成30年4月25日

佐賀うちどくネットワーク副代表 中島進

佐賀うちどくフェスティバルに係る業務について

佐賀うちどくネットワーク副代表 中島 進

| | |
|---|---|
| <p>地元事務局の業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 地元実行委員の選定と連絡、役割分担 ② 市連 P との調整 ③ 実行委員会の開催 ④ 会場の確保 ⑤ 地元後援団体への申請と連絡 ⑥ 実行委員長の選出 ⑦ 実行委員会事務局長の選出 ⑧ チラシ配布(地元関係) ⑨ その他地元関係の連絡調整 (業者など) | <p>ネットワーク事務局の業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ① ネットワーク実行委員の選定と連絡 ② ネットワーク代表との連絡調整 ③ 問い合わせ対応 ④ 当日パンフレットの作成 ⑤ 地元以外後援団体への申請と連絡 ⑥ チラシ配布(県内関係) ⑦ その他地元以外関係の連絡調整 |
| <p>事務局未定業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ① チラシ作成 ② チラシ、パンフレットの印刷依頼 | <p>中島業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ① ゆめ基金への申請と報告 ② 助成金の配分 ③ 市長を囲んでの食事会の計画 |
| <p>準備委員会の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 実行委員会メンバーの決定 ② フェスティバル期日、会場の選定 ③ フェスティバル概要の立案 ④ 講師の選定 ⑤ 第1回実行委員会の期日会場の決定 | <p>実行委員会の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ① フェスティバル期日・会場・概要の決定 ② 講師の決定 ③ 発表者の選定 ④ 役割分担の決定 ⑤ チラシ等印刷物の決定 ⑥ 実行委員会の回数と期日 ⑦ 集客について検討 |

*費用はすべて子どもゆめ基金の助成金で賄うようにいたします。

*ゆめ基金の助成規定上、共催ではなく後援となります。